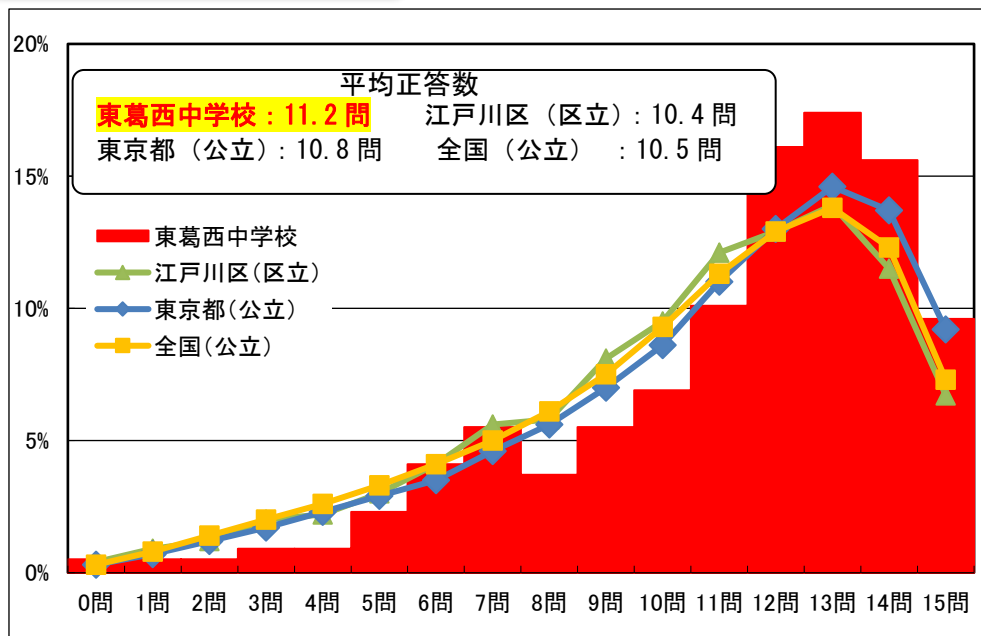
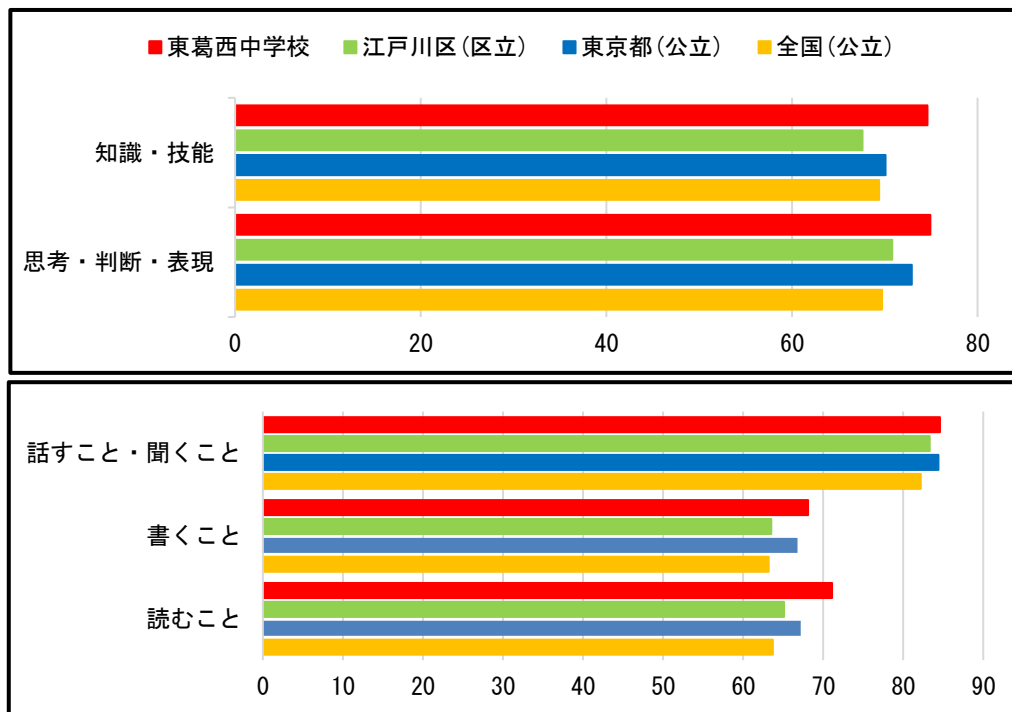


令和5年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【国語】 東葛西中学校

正答数分布



「領域別」の結果



<四分位における割合(都全体の四分位による)>

国語	上位 ← 下位			
	A層 13~15問	B層 12問	C層 9~11問	D層 0~8問
東葛西中学校	42.7	16.0	22.5	18.8
江戸川区(区立)	32.1	12.9	29.7	25.3
東京都(公立)	37.5	13.0	26.6	22.9
全国(公立)	33.4	12.9	28.1	25.6

【平均正答率の差】

東葛西中学校	75%
江戸川区(区立)	69%
東京都(公立)	72%
全国(公立)	69.8%
都との差	+3ポイント

【分析結果と授業改善に向けて】

正答率は全国・都・区すべて上回っている。項目別に見ると「読むこと」が、都の平均正答率を大幅に上回っている。「話すこと・聞くこと」については都の平均正答率とほぼ同じであることから、発表の場面を意図的に増やすなど、更なる向上を目指し授業改善を図る必要がある。併せてC・D層をさらに減少させることを目指していきたい。

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、生徒数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって生徒をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の生徒の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。